

ゆし! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第3号

2012/12/3日発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島

特集 宮古島市立教育研究所ってどんなところ?

放課後子ども教室推進事業

子どもたちのために 安全・安心な居場所を



放課後子ども教室



CONTENTS

- ◆ 宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」
俳句・美術・自由研究展
- ◆ 生涯学習フェスティバル
- ◆ 平成24年度
「情報化促進貢献(企業部門)表彰」
- ◆ わだいの広場



連載1 パニパニ☆スクール

- ◆ 福嶺中学校2年生
「夢実現の旅」～宮古島産 紫いもの生産体験を通して～



連載2 文化財を巡る

- ◆ 仲屋金盛ミャーカ

特集

宮古島市立教育研究所

ってどんなところ？

宮古島市立教育研究所(城辺庁舎)

教員は、教育職であると同時に教育研究職でもあります。子ども達への教育を行いながら、常により良い指導を研究していくことが求められます。

宮古で長期研修を行い、教職員の指導力を高めていきたいという教職員の長年の思いが実り、平成18年4月にこの研究所ができました。

主な事業

◆研修 長期研修(研究教員の研究所での研修)



長期研修とは、市内の小学校・中学校教諭から年間2人を選任し、前期及び後期の6ヶ月間にわたり研究所で研究をしてもらう研修です。これまでに12人の教諭が研究を行いました。現在、第12期の2名の教諭が研究を行っています。

- (1) 研究教員は、自分の授業や子ども達の課題をもとに、自らのテーマを決めて、研究を行います。この研究を通して教員としての指導力と人間力を高めて行くものです。
- (2) 研究教員の研究においては、先輩教員や琉球大学教育学部の教授などから指導をもらい質の高い研究ができるようにします。
- (3) 研究教員は、研究授業を公開したり、研究の成果を報告書にまとめて報告会を開き、他の教職員へも伝えていきます。



研究教員入所式

<10月からの研究員入所式>

研究テーマ

砂川 千賀 中学校(数学)

筋道を立てて考え、表現する能力を育む学習指導の工夫
～「三角形と四角形」における論証指導を通して～

上里 光枝 小学校(生活)

生活科における気づきの質を高める学習指導の工夫
～1,2年生の共通題材「ダイズおいしいみそ造り」を通して～

教職員研修



市内の幼稚園・小・中学校の教員を対象に、普段の日の午後や夏休み期間に研修会を開催しています。

内容は、アンケート調査にもとづいて宮古島の教員が必要と考えている事を学べるように工夫しています。これまで、感想画、感想文、絵画、リコーダー等の実技研修や、総合的な学習の時間や学級づくり等についての研修を実施しており、多くの教職員が参加しています。



<総合的な学習の時間講座>

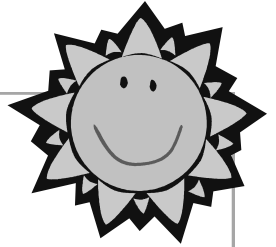


<リコーダー実技研修会>



<水彩画ワークショップ>

◆適応指導教室「まていだ教室」(下地庁舎)



まていだ教室は、学校へ行きたいと思っているのに、心や体がついていけず学校に行けない不登校の児童・生徒を支援し、学校生活への復帰をめざします。

【学校復帰までの支援・指導】

- (1) 安心して登室できるように温かい雰囲気をつくり・子どもが落ち着いて過ごせるように努めます。
- (2) 子どもの気持ちを受け容れながら、情緒の安定を図り、子どもとの信頼関係を築きます。
- (3) 相談活動、体験活動、学習活動を通して、自信や意欲を育て、学校生活にもどる力を回復させていきます。
- (4) 学校や家庭、各関係機関と協力しながら、子どもが学校に行けるようになるまで登校を支援します。

【教室運営】

- (1) 指導教諭(1名)、指導員(2名)で児童・生徒の指導をしています。
- (2) 「協力委員会」が設置されており、適応指導教室の運営、指導のあり方等について指導助言や教室への入退室の判定を行います。
- (3) 協力委員会は、医師関係者、教育行政経験者、学校関係者、学識経験者から構成されています。

教室での主な活動

■ 学習活動

国語・算数(数学)・音楽・道徳・図工・パソコン等

■ 体験活動

- 栽培活動
- 制作活動
- 交流活動
- 自然体験
- 社会体験活動
- スポーツ・レク活動



〈まていだ教室〉

◆教育相談室(下地庁舎)

様々な悩みを持つ児童生徒やその保護者、又は教員の相談を受け、問題の解決を支援します。

- (1) 相談者の心に寄り添って話しを聞き、問題の解決に向けて、真摯な態度で向き合います。
- (2) 相談者のニーズにあった相談活動を行います。
- (3) 相談者のプライバシー保護の観点から「守秘義務」を徹底します。

相談業務

電話相談	児童生徒、保護者、教師、市民からの電話相談
来所相談	児童生徒、保護者、教師、市民の面接相談
訪問相談	学校訪問相談…校長、生徒指導、学級担任等との教育相談 家庭訪問相談…問題行動、不登校児童生徒との家庭訪問相談



4人の相談員がいますので、お気軽にご相談ください。



◆所員紹介

職名	氏名	職名	氏名
指導主事	砂川 修・松本 尚	指導員	狩俣 芳子・比嘉真奈美
適応指導教室 指導教諭	比嘉 公代	教育相談員	立津 和代・宮平幸子 宮國 芳美・久貝清順



〈教育研究所の様子〉



子どもたちのために 安全・安心な居場所を



「放課後子ども教室」とは？

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、放課後や週末に小学校の教室などを活用し、地域の方々が指導者やボランティアとして参加して、勉強やスポーツ・文化活動などの様々な体験活動、地域住民との交流活動などを実施する取り組みです。



どんな活動をしているの？

放課後子ども教室には、子どもを見守りさまざまな体験活動を支える立場として「安全管理員」を、子どもたちの学習活動の指導者として「学習アドバイザー」を配置しています。

地域の方々が、安全管理員と学習アドバイザーとなって参加し、子どもたちの安全に配慮しながら体験活動や学習活動を実施しています。

活動内容は、各放課後子ども教室で活動する皆さんで計画し、百マス計算や漢字の書き取りなどの学習の時間、ドッチボールや水泳等のスポーツの時間、物づくりや文化芸術活動、昔あそびや植物栽培活動など地域の方々の持っている「生きる力」を、子どもたちに与えて下さっています。

今年度の宮古島市放課後子ども教室は、宮古島市内で10教室・各35回開催しています。



毎年恒例となりました！

慰霊の日のライトダウン。この日、市内の協力店舗にて放課後子ども教室の子どもたちが作ったエコキャンドルが灯りました。



放課後子どもプランホームページ

<http://www.houkago-plan.go.jp/houkago/>

宮古島の学校ボランティア・ブログ

<http://sunakagi.ti-da.net/>





連載① パニパニ☆スクール

宮古島産

夢実現の旅

紫いもの生産体験を通して

学校での学びと社会との関連性を教え、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」が重要視されています。福嶺中学校2年生(5名)は学級を会社化(名称※「福夢プロ66」)し、宮古島市農政課が今年度から立ち上げた「宮古島市いも生産組合」に加入、8月から15アの農地を借り、いも栽培を開始しました。このプロジェクトでは、いもの「栽培」から「販売」までの工程を体験的に学習する中で、組織の「経営」「事業」の主體的役割を生徒が担い、投資やアドバイザーを教師、保護者、地域人材が担います。

また、活動内容に応じて各教科との関連を図ることや流過程での関係職種(加工、製造、販売)を体験するなど実践的な学びを推進しています。今後は収穫したいもで「おやつレシピ開発」(家庭科)や販売収入をどのように運用するか?など課題もあります。少人数のフットワークと地域環境を活かし島の可能性を切り開く福嶺青年をめざし「夢実現の旅」は続きます。(※福嶺夢実現プロジェクト66期生)



総務大臣表彰を受けました!

宮古島市教育委員会が、平成24年度「情報化促進貢献(企業等)」部門で総務大臣表彰を受けました。

平成22年度に総務省の実証実験で、ブロードバンドを活用した小・中学校の業務支援モデルの普及を目的として、「ブロードバンド・オープンモデル実証実験(小・中学校教員の事務軽減支援)」を実施しました。教育現場における校務文書の共有・連携強化及び校務の効率化等を図るため、クラウド技術を活用した校務支援システムを構築しました。また、校務の情報化について検討・取り組んでいる多くの地方自治体に広く情報発信するなど、クラウドを活用した校務支援システムの普及・促進に貢献。

そして、平成24年度4月からクラウドによる校務支援システムを宮古島市内の小中学校34校において本格導入し、運用していることが表彰された大きな要因です。

10月1日に東京都で行われた表彰式には、教育委員を代表して佐平博昭委員長職務代理者が出席しました。

また、この受賞について川満弘志教育長は「このシステムを使って教諭の業務管理、生徒(個人情報など)管理がスムーズにいくことにより、課題となっている多忙感の解消につながる。それにより子どもたちと向き合う時間が確保できていることは望ましい」と述べていました。



情報化促進貢献個人等表彰とは?

総務省が高度な情報通信技術の研究・開発、高度 ICT 人材の育成、ICTの活用が遅れている企業へのICTの導入、ICTを活用した社会課題の解決等、情報化の促進に先導的に役割を果たし、又は顕著な成果をあげたと認められる個人・企業等に対して表彰を行っています。毎年10月に開催される情報化月間の行事の一環として昭和47年(1972年)から継続的に実施しており、本年度で41回目となります。(総務省HPより)

第7回

書道・美術・文芸・自由研究展

宮古島市民総合

文化祭

(児童・生徒の部)

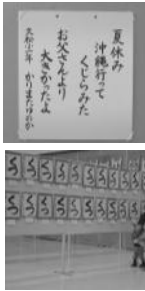
10月20日・21日に宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」書道・美術・文芸・自由研究の各部門における展示が中央公民館で行われました。

会場には初日から多くの市民が訪れ、個性豊かで創造性溢れる数々の作品が市民の目を惹きつけていました。中には受賞作品の前で記念撮影をする家族づれ、クラスメートや友人の作品を見つけ喜び遊ぶ児童・生徒の姿も見られ、2日間とも会場が笑顔に包まれていました。

作品応募数

合計 4,261作品

書道	511点	短歌	837点
美術	341点	作文・詩	451点
俳句	1,599点	自由研究	522点



今回出品された個性的な作品の一部



第8回宮古島市生涯学習フェスティバルが11月17日・18日の2日間に渡り宮古島市中央公民館で開催され、2日間で約1,300人の市民が会場を訪れ市の生涯学習活動の取り組みの成果等を確認するとともに、会場で行われた各種活動へも参加しました。

フェスティバルでは各団体が活動成果をパネルや写真で紹介したり、舞台発表、社会教育功労者表彰、軽スポーツ、セグウェイ体験など多彩な催しが展開され、大勢の市民で賑わいをみせていました。中でもどんぐりでトトロの制作やロボット体験などができる体験コーナーやキッズコーナーでは、親子連れを中心に人気を集めていました。

また、18日にはフリーアナウンサーの柳卓氏を講師に招いて「言葉のもつ力」をテーマに講演会が開催されました。笑いの中にも風刺の効いた柳氏のトークは会場を大いに沸かせていました。

第8回

生涯学習フェスティ

学び育てる
文化のまち
みゃーく



連載② 文化財を巡る

宮古島市に所在する文化財の多くは、それに由来する伝承や伝説、民話に彩られています。そして、そのひとつひとつの物語が歴史を繋ぐとき、みやこの歴史に触れる面白さを感じるのです。

市指定史跡

なかやかなもり

仲屋金盛ミヤーカーカ

平成十九年四月二十五日指定)

ちゆうどうし

仲屋金盛「ミヤーカーカ」は、忠導氏仲屋根家の東方にあつて、忠導氏一門ではなかやかなもり

仲屋金盛の墓と言ひ伝えてあります。墓の規模や形態は、大半が土砂に埋もれて明らかではありませんが、石棺の蓋と思われる縦二一〇センチメートル、横一二〇センチメートル、厚さ二十二センチメートルの巨石が露出しています。

仲屋金盛は、十六世紀初頭に宮古島の

なかそねとうゆみや

の主長であつた仲宗根豊見親の嫡子で

まつりがにとうゆみや

す。弟に祭金豊見親や知利真良豊見

みや

親らがいます。八重山のオヤケアカハ

チの乱」(一五〇〇年)、宇那国の

うんどう

鬼虎の乱」(一五二二年頃)に父仲宗

根豊見親に従つて従軍しました。そし

て、父豊見親が亡くなつた後、その跡を継いで宮古島の支配者となりました。

なかやせと

一五三二年頃、家臣 仲屋勢頭の

ざんげん

讒言により、宮古島の東南部で勢力の

きんすきやなきたつとうゆみや

あつた金志川那喜太知豊見親を殺害

してしまひます。俗に野原岳の変」と

言われる出来事です。その後、仲屋金

盛は首里王府の問責にあひ、自害しま

した。この事件により、豊見親の称号は

廃止され、代わつて、首里王府の任命

による頭制が施かれることになつていま

す。

ちなみに、忠導氏正統系図家譜は、金

盛について不届きに付き家督を継が

ず」と記してあります。十六世紀初頭、宮

古で起きた歴史的諸事件並びに世情

を考へる上で、この仲屋金盛「ミヤ

カーカ」は重要な史跡であると言へます。



宮古地区教育委員協会及び 教育長会合同研修会を開催しました！

宮古地区教育委員協会(宮國博会長)と教育長会(川満弘志会長)の合同研修会が10月16日に城辺庁舎で開かれました。この研修会は宮古島市・多良間村教育委員相互の連携と宮古地区共通の教育課題を検討し解決を図る目的で毎年開催されるもので、総会の中では、平成25年度より宮古地区教育委員協会として統合するための規程が確認されたほか、平成23年度実績、平成24年度事業計画等が確認されました。

また、総会に続いて研修会が行われ、宮古島市史編さん委員会の仲宗根将二委員長より「みやこの歴史について」と題しての講話がありました。専門的な立場からお話しになるみやこの歴史について、各委員とも真剣な表情で聞き入っており、古琉球やブスク時代等についての識見を深めることができ充実した内容の研修会となりました。



定例教育委員会の開催状況

第6回(9月26日)、第7回(10月23日)定例教育委員会を開催しました。

【主な審議事項】

- 宮古島市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例施行規則の一部を改正する規則について
- 宮古島市立学校選手派遣補助金交付要綱の一部を改正する訓令について
- 宮古島市社会教育指導員設置に関する規則の一部を改正する規則について
- 「ミヤコジマソウ」の市指定文化財への指定について
- 「ミヤコジマハナワラビ」の市指定文化財への指定について
- 宮古島市史編さん委員会委員の委嘱について

平成24年度 高齢者リーダー研修会

10月16日に宮古島市中央公民館で「高齢者リーダー研修会」を開催しました。研修会では「ボディ&ブレイン」代表の和田芳勝氏を講師に招き、「運動でカラダも元気！アタマも元気！ずっと続けてココロも元気！」をテーマに講演が行われました。運動は体にも頭にも良く、認知機能が向上し、仲間と一緒に運動を続けるとさらに効果を高めるとのことや、地域の公民館でちょっとした道具を揃え、公民館を「ジム化」することで、運動しやすい環境づくりにもなると紹介。

また「クエアステップ」と呼ばれるゲームを導入して、頭と



体を同時に鍛える遊びを指導していました。

第3回子ども博物館 「無土器時代の料理をしよう」

第3回子ども博物館を10月21日に真謝漁港で開催しました。

「無土器時代の料理をしよう」をテーマに、無土器時代（2,900年前～19,000年前）に行われていたとされる「石蒸し調理」を体験して当時の食生活を学びました。豚肉や鶏肉、イモの食材を使い1時間ほど蒸し焼きにし、生焼けのイモもありましたが、お肉は中まで火がとおり、子どもたちは「おいしかった！」「またやりたい！」と話していました。蒸している間には、「ストーンボイリング（焼いた石を水にいれてお湯をわかす）の実験」と、砂浜の清掃を行いました。



宮古島市・藤枝市 スポーツ推進委員交流会

10月28日に下地体育館にて、本市スポーツ推進委員と友好都市・藤枝市のスポーツ推進委員がスポーツを通じた交流会を開催しました。お互いの市で推進する軽スポーツ（宮古島市・ノルディックウォーキング／藤枝市・ファミリーバドミントン）を行い、意見交換をしながら交流を深め、今後の活動に繋がる交流会となりました。参加した藤枝市市民文化部スポーツ振興課の杉本雄亮さんは「スポーツには人と人を繋ぐ大きな力がある。宮古島と藤枝は遠く離れた場所であるが、友好都市としてお互いに高め合い、スポーツ



を通じた交流を今後もやりたい」と話していました。

成人式のお知らせ

新しく成人を迎える皆さん、ご家族の方、この度はおめでとうございます。
平成25年成人式を下記のとおり実施致します。※平成24年より、地区別に開催しております。

実施日 平成25年1月5日(土) 開場13:15 式典14:00



地区名	会場	会場住所	問い合わせ先
平良地区	文化ホール（マティダ市民劇場）	平良字下里108-12	教育委員会 生涯学習振興課 TEL 0980-77-4946
城辺地区	城辺公民館（改善センター）	城辺字福里579-2	城辺支所 総務部 地域係 TEL 0980-77-4905
下地地区	下地農村環境改善センター	下地字上地628-1	下地支所 総務部 地域係 TEL 0980-76-6001
上野地区	上野公民館（改善センター）	上野字野原708-1	上野支所 総務部 地域係 TEL 0980-76-6821
伊良部地区	伊良部公民館	伊良部字前里添1056-1	教育委員会伊良部分室 TEL 0980-78-6254

12月・1月の行事

- 青年団体リーダー研修会
日程／12月22日(土)
場所／城辺公民館
- 第5回子ども博物館
「宮古方言でおしゃべり」
日程／12月9日(日)
場所／総合博物館

- クリスマス会(12月)
日程／平良図書館：22日(土)
城辺図書館：16日(日)
- クリスマス絵本展
日程／12月15日(土)～25(火)
場所／城辺図書館

- おはなし会たまたまばこ(12月)
平良図書館：
1日(土)8日(土)15日(土)
- おはなし会たまたまばこ(1月)
平良図書館：毎週土曜日
城辺図書館：第1日曜日

